

第4・5回 BLSO プロバイダーコース in 相澤病院

【背景】

全国の消防本部に対するアンケート調査から、2010年の1年間に734件の病院前分娩事例があったとされています。相澤病院が運行しているドクターカー事業においても平成25年にドクターカー内での分娩事案を経験しております。また、妊産褥婦においては産科的疾患を除いた死亡原因の第1位は外傷です。前述のアンケート調査の結果を基に検討すると、年間約1万人の妊産褥婦が交通事故に遭い、20人前後の妊産褥婦が外傷により死亡しているものと推定されます。

【BLSOとは】

上記の結果を受けて、米国家庭医療学会(AAFP)が開発した病院内での妊産褥婦救急を想定した産科に関する実践的なトレーニングプログラムです。Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)をもとに「周産期医療が非日常的な医療従事者(救急救命士、救急医、救命救急センタースタッフ、プライマリケア医など)」を対象に「産科スタッフに繋ぐまでの初期対応」を学ぶための標準化コースとして開発されたのが Basic Life Support in Obstetrics(BLSO)コースである。

コース内容は、主に

- ① 分娩介助(産後大出血を含む)
- ② 新生児蘇生
- ③ 妊婦を含む女性傷病者の評価(妊婦の心肺蘇生を含む)

となっています。(その他、救急車内分娩のワークショップも準備しています)

近年、長野県内の分娩施設が減少・集約化されています。これに伴い、妊産褥婦の救急事案において搬送時間の増加が懸念されています。実際に分娩施設に到着するまでに分娩に至った事案も散見されています。

今回、「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダーの全てが標準化されたコースを学ぶことで、救急救命士から救急部スタッフ、産科医、小児科医との間で共通認識を持ちながら連携を取ることが出来れば妊産褥婦死亡・後遺症を減らせるのでは無いか?」と考え、平成25年、平成28年に続き第4回/第5回目の BLSO コースを相澤病院にて開催する事となりました。

※コース修了者はAAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効な認証を受けることができます。

第4・5回 BLSO プロバイダーコース in 相澤病院 開催要項

主催:社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 救命救急センター

共催:NPO 法人周生期医療支援機構

日時:2017年12月9日(土), 10日(日) 9:00~18:00 (予定)

(各1日コースとして開催)

開催場所:相澤病院ヤマサ小ホール&相澤シミュレーションセンター

定員:各日18名まで(予定)

受講料:20,000円(昼食付き)

申し込み方法:以下のURLの申し込み専用ページから申し込み。

申込期限:2017年10月15日まで(申込多数の場合, 締め切る場合あり)

★申し込み専用ページURL(このページの右下にQRコードあります)

<https://ws.formzu.net/fgen/S68047264/>

※定員を超えた場合は職種, 所属を考慮の上, 当方で選考させていただきます。
受講が決定された方には教材使用のための規約同意書, 受講料の振込先, 教材をダウンロードするための方法とパスワード, その設定の仕方をお知らせします。
教材のデータ量が大きいので, 必ずPC/Macのメールアドレスを記入ください。

ご応募お待ちしております。

申込みフォーム QR コード

お問い合わせ先:

相澤病院 救命救急センター 集中治療科

池田 武史/金子 秀夫/小山 明英

E-mail:aizawablso2017@gmail.com

勤務先電話:0263(33)8600 (代表)



4th相澤BLSO2017 プロバイダーコース スケジュール：12/9

時間帯	時間	グループA	グループB
8:30	30	受付	
9:00	15	オープニング	
9:15-10:40	85	分娩介助	
10:40-10:45	5	休憩	
10:45-11:50	65	新生児蘇生	
11:50-12:00	10	休憩	
12:00-13:20	80	女性傷病者の評価	
13:00-13:40	40	ランチタイム(写真撮影)	
13:40-14:30	50	症例検討	
14:30-14:45	20	試験準備	
14:45-15:45	60	実技試験	筆記試験→車内分娩
15:45-15:50	5	入れ替え	
15:50-16:50	60	筆記試験→車内分娩	実技試験
16:50-17:10	20	クロージング	